

社会との共創価値(CSV)の取り組み

■CSVに関する基本的な考え方

当社グループは、「共創価値(CSV)」を経営の根幹とし、社会と事業それぞれの重要度を鑑みながら「多様性の尊重」「地域社会」「資源」の3つを今後10年間にわたって取り組む重要な領域と位置づけています。また、日本のコカ・コーラシステムの一員として、環境や日常生活、私たちを取り巻く地域社会などの各場面で、日本が直面する重要な課題に対し、ビジネスを通じて変化をもたらす、さわやかさを届けながら、未来を共創していくことに責任を持って取り組みます。

また、中期計画の重要な要素のひとつとして、CSVの実現に向けたESG(環境・社会・ガバナンス)分野における当社グループのコミットメントを示す「CSVゴール～共創価値創出に向けて～」を策定し、取り組みを推進しています。

コカ・コーラシステムのサステナビリティ活動における3つのプラットフォームと9つの重点課題(優先事項/重点事項)



CCBJHの取り組み例

- ダイバーシティ&インクルージョンの推進
- 女性活躍推進
- 障がい者雇用推進
- ワーク・ライフ・バランスの推進
- 自動販売機を活用した地域貢献(災害時支援等)
- 水分補給セミナーの開催
- 「森に学ぼう」プロジェクト
- カンパニースポーツクラブ部/ホッケー部によるスポーツクリニック等
- 水資源保護活動の実施
- 温室効果ガス排出量の削減
- リサイクルの推進
- 環境負荷の少ない容器の採用等

■CSVゴール

分野	目標	達成年度
製品	主要ブランドでのノー/低カロリー製品のラインアップ	100% 2025年
	トクホ・機能性表示飲料の販売数量増	300% 2025年
	パッケージ前面でのカロリー表示およびわかりやすい栄養表示	100% 2025年
	コカ・コーラシステム「責任あるマーケティングポリシー」の遵守	100% 2025年
水	水源涵養率。工場近辺の水源、流域に注力	200% 2025年
	使用量削減	30% 2030年
気候変動	温室効果ガス削減	25% 2030年
	再生可能エネルギーの推進	— 2025年
ダイバーシティ&インクルージョン	女性管理職比率	6% 2025年
社会	社員のボランティア参加率	10% 2025年
	コミュニティプログラム参加人数累計	100万人 2025年
World Without Waste (廃棄物ゼロ社会)	リサイクルPET樹脂の使用率	50% 2022年 90% 2030年
	化石燃料を使わないサステナブルPET樹脂の使用率	100% 2030年
	リサイクル可能な容器の採用	100% 2025年
	さらなるPETボトルの軽量化(削減率・2004年比)	35% 2030年
	販売量と同等の回収量	100% 2030年
	環境保護団体や業界団体との幅広い連携	— 2030年
調達	持続可能な原材料調達	100% 2025年
人権	CCBJHグループバリューチェーン上でのサプライヤー基本原則の遵守	100% 2025年

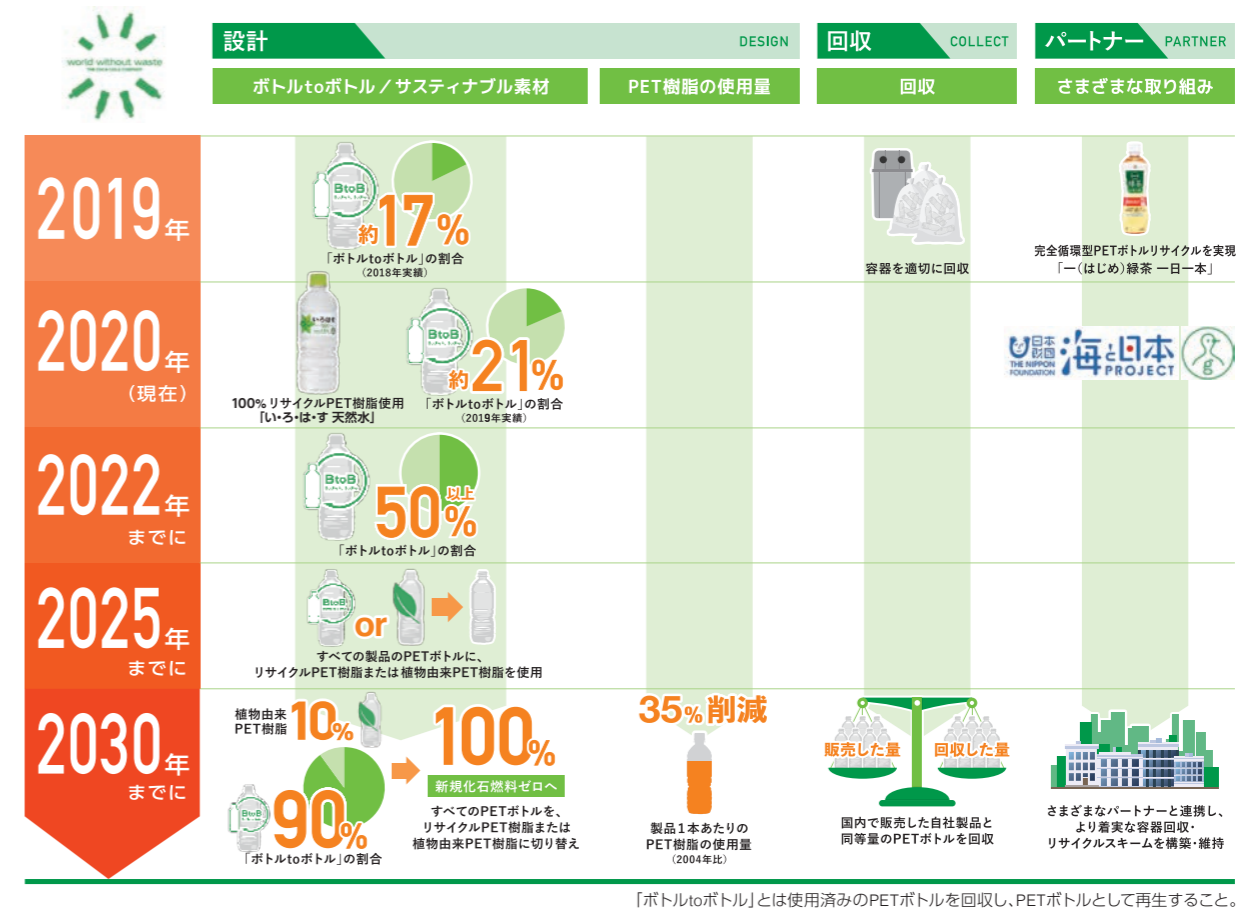
Q CSVの取り組みについての詳細は、当社のCSVレポートやウェブサイトをご覧ください。(基準年は2015年)

トピックス 「World Without Waste (廃棄物ゼロ社会)」の実現に向けて

当社の「CSVゴール」で掲げる目標は、世界のコカ・コーラシステムの環境目標「World Without Waste (廃棄物ゼロ社会)」における強いコミットメントと合致しており、これには、日本コカ・コーラ株式会社とともに策定した「容器の2030年ビジョン」の取り組みが含まれています。

当社は、CSVの実現に向けた取り組みを加速させるとともに、コカ・コーラシステムの一員として「World Without Waste」を実現するため、また、飲料業界でのリーダーシップを示すために、日本のコカ・コーラシステム独自の環境目標「容器の2030年ビジョン」の達成を目指します。

■容器の2030年ビジョン



「ボトルtoボトル」とは使用済みのPETボトルを回収し、PETボトルとして再生すること。

100%リサイクルPETボトル※1「いろはす 天然水」を発売

100%リサイクルPET素材を用いた「いろはす 天然水100%リサイクルPETボトル」を、2020年3月から発売しています。これまでは、ボトルの30%にリサイクルPET素材を使用していましたが、従来のリサイクルPET素材のボトルより透明度を高めるという難易度の高い技術を実現したこと、パートナー企業の協力によって、ボトルの量産が可能になったことにより100%リサイクルPETボトルの導入が実現しました。

※1 100%リサイクルPET素材のボトル



セブンプレミアム × 一(はじめ)で取り組む環境対応 「一(はじめ) 緑茶」シリーズへ 完全循環型PETボトル採用を拡大

2019年6月に発売した「一(はじめ) 緑茶 一日一本」は、セブン&アイグループ店頭で回収したPETボトルだけを原材料とした再生PET樹脂を100%用いた製品を、再び同グループ店舗にて販売する「完全循環型PETボトル」を採用した製品です。2020年4月からは、環境配慮への取り組みをさらに推進するため、新たに同シリーズ3品「一(はじめ) 緑茶 静岡茶入り」、「一(はじめ) 緑茶 宇治茶入り」、「一(はじめ) 緑茶 八女茶入り」にも同PETボトルを採用し販売しています。完全循環型PETボトルに切り替えることで、1本あたりのCO₂排出量を約25%削減することが可能となります※2。

※2 日本コカ・コーラ調べ



コカ・コーラシステム初導入「いろはす 天然水 ラベルレス」を発売

「いろはす 天然水 ラベルレス」は、ラベルをはがす手間がなくなり、ゴミの分別も楽にすることができる製品です。また、容器には100%リサイクルPETボトルを採用しており、環境に配慮した製品となっています。本製品は、コカ・コーラシステム初導入であり、2020年4月からオンラインチャネル等で販売しています。

